

第38回友和少年野球連盟卒業生大会

実施要領

参加8チーム

と き 2015年1月25日（日）～2月8日（日）

ところ 薬円台公園グラウンド他

主 催 友和少年野球連盟

ごあいさつ

日頃、皆様方には「友和少年野球連盟」にご支援を賜り心より感謝申し上げます。

友和卒業生記念大会も本年で38回を迎えました。

当大会の主旨は、日頃野球と親しんでいる少年たちが、そのプレーを競い合うと同時に明るく楽しくプレーをし、広く地域友好の輪を作り、心身ともに健全な少年として大きくはばたいて頂くことを主旨とした大会であります。

関係各位におかれましては主旨ご理解の上、ご支援の程申し上げます。

大会式典式次第

開会式
1月25日(日) 8:30
集合 役員 8:00
選手 8:15
場所:薬田台公園

開会式
2月8日(日) 15:30
集合 役員 15:00
選手 15:15
場所:薬田台公園

(総合進行司会 友和事務局・父母(開会式:ツインドルフィンズ))

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 役員, 監督整列 | 1. 役員, 監督整列 |
| 2. 選手入場 | 2. 選手入場 |
| 3. 開会宣言 (友和事務局) | 3. 開会宣言 (友和事務局) |
| 4. 優勝旗返還
・ツインドルフィンズ | 4. 成績発表 (河野審判長) |
| 5. 大会会長挨拶
・川口理事長 | 5. 表彰 |
| 6. 顧問挨拶 | 6. 大会会長挨拶 (川口理事長) |
| 7. 審判長 注意 (河野審判長) | 7. 顧問挨拶 |
| 8. 選手宣誓 (ツインドルフィンズ) | 8. 閉会宣言 (友和事務局) |
| 9. 閉会宣言 (友和事務局) | 9. 選手退場 |
| 10. 選手退場 | |

(表彰内容)

(チーム賞)

優勝	表彰状	優勝旗	中山杯	理事長杯	優勝楯
準優勝	表彰状	準優勝楯			
3位	表彰状	3位楯			

(個人賞)

最優秀選手賞	1人	(メダル)
優秀選手賞	1人	(メダル)
敢闘選手賞	1人	(メダル)
友和賞	7人	(メダル)

<開会式> 1月25日(日) 8:30より

- ◎各チームの選手は8:30迄に1塁側に集合する。
- ◎各チームプラカードおよび団旗保持者を決める。
- ◎行進順序は、先導員に続いてツインドルフィンズ・前原サンライズ・ホワイトビーストロング・丸山ベアーズ・薬田台リトルスター・二和タイガース・緑台・若松連合・さざんかポニーズの順で行進する。
- ◎入場行進は、1塁側入口から1塁ベース、本塁ベース、3塁ベースと進み、2塁ベース付近から整列足踏みしてラインが出来るまで待つ。(整列順は前年度優勝チームを中心に以下左右に交互に整列) ラインが出来、合図とともに投手板付近の定められたラインまで行進する。
- ◎選手以外の整列は、
 - 3塁側 監督、コーチ、その他
 - 1塁側 大会役員および来賓の方々
- ◎選手宣誓はツインドルフィンズの主将が行う。
選手宣誓の際には、各チームのプラカードおよび団旗保持者は宣誓する選手の後方に半円にて集まる。
- ◎退場行進は1チームずつ整列場所から1塁ベースに向かい、そこから退場する。

<閉会式> 2月 8日(日) 15:30より

- ◎閉会式には負けたチームを含め全チームが参加する。
- ◎各チームの選手は決勝戦終了後、直ちに1塁側に集合する。
- ◎行進順序は、優勝、準優勝、3位、・・・と本大会の順位で行進する。
- ◎入場行進は開会式と同様に2塁ベースまで進み、整列順は優勝チームを中心に以下左右に交互に整列する。
- ◎表彰されるチーム代表選手及び個人表彰を受ける選手は、発表されたら元気よく、駆け足で中央表彰場所に向う。
- ◎退場行進は成績優秀チームを称えるため、4位以下のチームで1塁側に近いチームから順に1塁側に退場した後、最後に優勝チームが退場する。

※閉会式終了後、本塁付近での記念撮影については上位チームから順にお願いします。

※卒業記念メダルを製作する関係上、事務局(池内)に開会式までにメールにて6年生の名簿(漢字・フルネーム)を送付(アドレスは下記のとおり)するか、又は開会式当日に名簿を印刷して事務局(池内)まで持参してください。

※メダルの費用は1,700円/人で、人数分の金額を開会式当日に持参してください。

名簿送付先アドレス: ikeuchi@fujita.co.jp

<大会組合せ>

1. 予選

2つのブロックに分け、枠決めの予選トーナメントを行います。

Aブロック

A 1	1/25 駐車場側 10:30～	1/31 または 2/1 主審・1 塁 Bブロック 1 回戦敗者
A 2	主審・1 塁⇒B 3・B 4	
A 3	1/25 駐車場側 13:30～	
A 4	主審・1 塁⇒B 1・B 2	

3位決定戦⇒1/31 または 2/1（主審・1 塁；Bブロック 1 回戦勝者）

Bブロック

B 1	1/25 資料館側 10:30～	1/31 または 2/1 主審・1 塁 Aブロック 1 回戦敗者
B 2	主審・1 塁⇒A 3・A 4	
B 3	1/25 資料館側 13:30～	
B 4	主審・1 塁⇒A 1・A 2	

3位決定戦⇒1/31 または 2/1（主審・1 塁；Aブロック 1 回戦勝者）

予選リーグの順位で決勝トーナメントの組み合わせを決定します。

若い番号が1 塁側とします。

2. 決勝トーナメント

8チームでトーナメントを実施し優勝から4位まで決定（3位決定戦あり）します。
組み合わせは以下のとおり。

A組 1 位	1 回戦① 主審・1 塁 ⇒1 回戦③	主審・1 塁 1 回戦③の敗者 + 1 回戦④の敗者	審判部
B組 4 位			
A組 3 位	1 回戦② 主審・1 塁 ⇒1 回戦④	主審・1 塁 1 回戦①の敗者 + 1 回戦②の敗者	
B組 2 位			
A組 2 位	1 回戦③ 主審・1 塁 ⇒1 回戦①	主審・1 塁 1 回戦①の敗者 + 1 回戦②の敗者	
B組 3 位			
A組 4 位	1 回戦④ 主審・1 塁 ⇒1 回戦②		
B組 1 位			

第38回 友和少年野球連盟卒業生記念大会 遵守事項

友和少年野球連盟事務局

大会参加費

1 チーム 2, 500円（開会式当日に納入）

大会適用規則

2014年公認野球規則、学童ルールを適用する。

大会使用球

学童部公式軟球国際ボールC号

大会遵守事項

A) 参加選手に関する規定

1. 指導者のベンチ入りは代表、監督1名、コーチ5名以内とし、選手と同一のユニフォームを着用すること。但し代表およびコーチの内3名以内は私服可とする。(30, 29, 28は必ず背番号を着用すること)
2. ベンチ入り選手は必ずユニフォームを着用すること。
3. ベンチ入り選手は必ず背番号をつけること。番号は他の選手と重複しないこと。
4. 指導者及び選手の金属スパイクの使用は認めない。
5. 投手の変化球投球は認めない。
6. 打者、次打者、ランナー、ランナーコーチャーはヘルメットを着用すること。
7. 捕手はマスク、プロテクター、レガースを必ず着用する。
捕手用のヘルメット着用が望ましい。

B) 大会実施に関する規定

1. 当日雨天等により試合を行なうことが出来ない場合は、大会事務局より出場チーム責任者に連絡する
2. 天候等の都合で中止となった試合は日程を変更して行なう

C) 試合に関する規定

1. 出場チームは試合開始予定時刻の30分前に到着すること。
2. 予選トーナメントについては試合は7イニング、試合時間は1時間40分とし（以内であれば新しいイニングに入ることができる）、その時点で同点の場合は番号の若い方を上位とする。（組合せ抽選は同点の場合の抽選を兼ねるものとする）
コールドゲームは4回終了時点で10点差とする。
3. 決勝トーナメントは7イニング、試合時間は1時間40分とし（以内であれば新しいイニングに入ることができる。ただし、決勝戦については時間制限なし。）、7回終了時点で同点の場合は、本大会特別ルールにて勝敗を決する。
(本大会特別ルール)
 - ・ 1アウト満塁、継続打者で最大2イニング行う。
 - ・ なおかつ決定しない場合は抽選とする。
4. 試合中は審判員の判定に従うこと、規則上の疑問点については監督のみ審判員に確認することができる。
5. ピッチャーの投球回数、投球数には特に制限は設けず、監督一任とする。
6. シートロック時を除き、守備交代時の投球練習用キャッチャー及び外野選手の練

習相手等グラウンド内は全て選手のみとする。

7. 試合中の言動は少年らしく活発に攻守の交代は駆け足ですること。
8. 応援は相手チームを傷つけたり自チームの品位を落とすことなく良識をもって行なうこと。またメガホンの使用は監督のみとする。
大会の雰囲気にあさわしくない場合は、審判員はそのチームに注意し、なおかつ改まらない場合は、そのチームの試合を中止することもある。
9. 試合開始後、降雨等の理由により試合続行が不可能になった場合は、4イニング終了時であれば、その時点で勝敗を決し、4イニング未满是ノーゲームとする。
10. 試合運営に関する事で問題が生じた場合は大会実行委員会及び審判部で協議のうえ、決定する。
11. 試合前のシートロックは5分間とし、後攻から行う。
12. ピッチャーの投球練習は初回5球、2回以降は3球とする。
なお、ピッチャー交代時は5球とする。

E) その他

1. 出場チーム責任者は各参加選手の父兄の同意を得ること。
2. 大会試合中、万一の負傷などの事故に関して応急措置を施すが、以後の治療については主催者はその責を負わない。
3. 各チームは事前に「スポーツ・レクリエーション参加者障害保険」等に参加の上、参加のこと。
4. 開会式は勿論、閉会式においても原則全チーム参加とする。